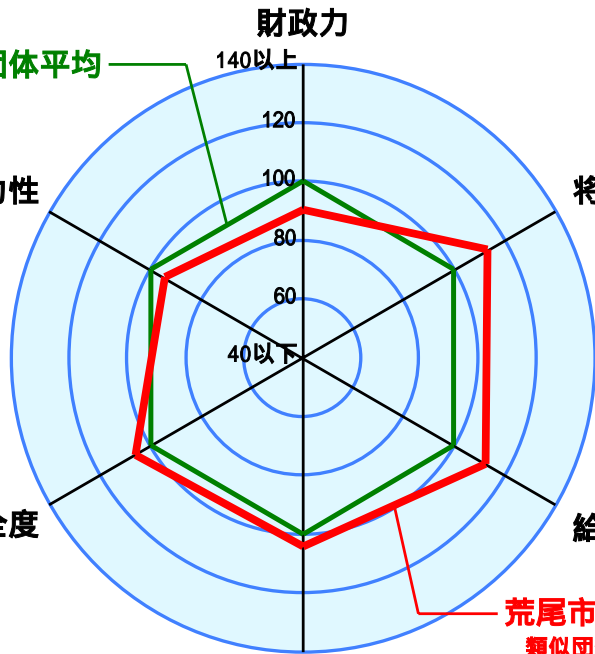


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 熊本県 荒尾市

人口	57,151人(H17.3.31現在)
面積	57.15 km <sup>2</sup>
歳入総額	17,056,536千円
歳出総額	17,610,174千円
実質収支	-555,969千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**：近年の各種炭鉱閉山対策事業等により固定資産税の増加等一応の成果は見られるものの、長期的には石炭産業の斜陽化に伴う本市地域経済の長期低迷による個人、法人税収の低迷により類似団体平均及び全国市町村平均と比較しても、本指数は低くなっており、本市の長期的特徴となっている。今後、「荒尾カートピア構想」等各種プロジェクトにより地域経済の再生、振興を促進し、市税収入の安定的増加を図る。

**経常収支比率**：平成15年度策定の「荒尾市財政健全化緊急3か年計画」等により、職員数の減(平成15から17年度において467人から426人へ約9%減)、特別職報酬及び職員給与のカットにより人件費等経常経費の削減に努めたが、市人口の高齢化や地域経済の長期低迷による生活保護費等各種扶助費の増加及び地方交付税の減少により、経常収支比率は非常に高い水準となっている。今後更に、事務事業の見直し、行政事務の効率化、各種施設の指定管理者制度の導入、各種事業の民間委託化等により経常経費削減に努める。

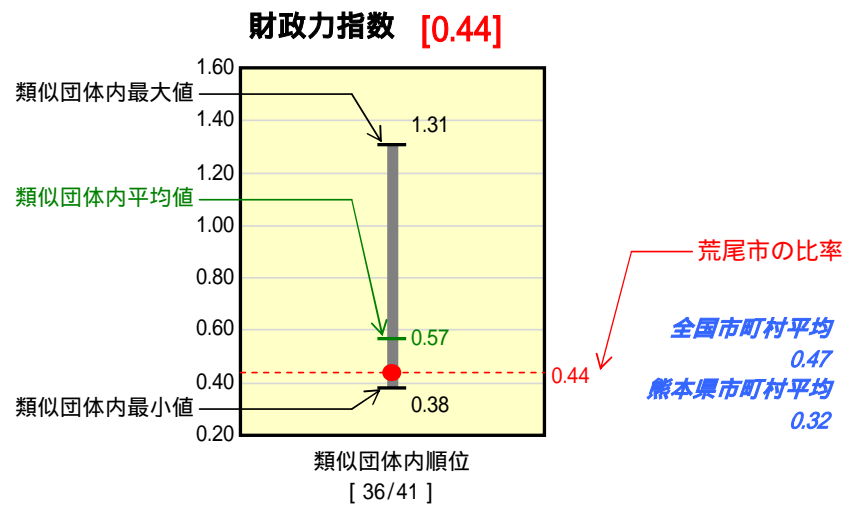
**起債制限比率**：数年来の投資的経費の抑制により、類似団体、全国平均及び熊本県平均と比較しても低い水準となっている。投資的経費においては中長期的計画に基づいたものとし、引き続き水準を抑える。

**人口1人あたり地方債現在高**：起債制限比率と同様の理由により低い水準となっている。起債にあたっては今後とも計画的なものとしていく。

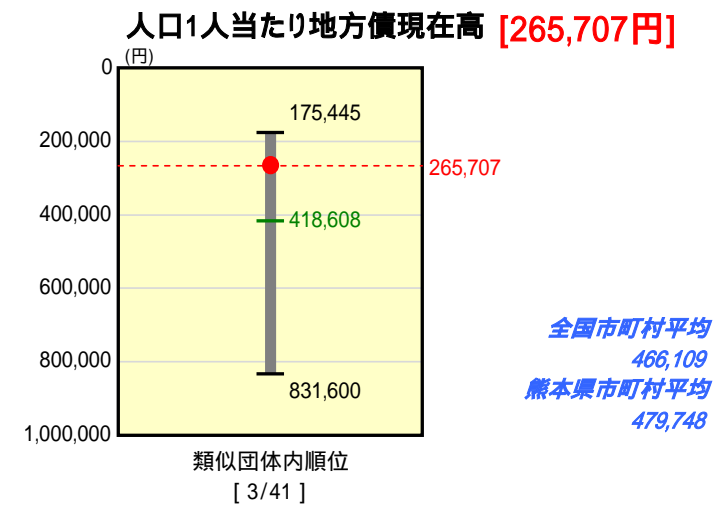
**ラスパイレス指数**：「荒尾市財政健全化緊急3か年計画」に基づく職員給与とカット(一般職員3%)の実施により全国市平均や町村平均より低い水準にあり、類似団体順位では最下層にある。今後も諸手当見直し等、給与のより一層の適正化に努める。

**人口1,000人あたり職員数**：「荒尾市財政健全化緊急3か年計画」に基づく新規採用の抑制、勸奨退職の促進により、類似団体、全国及び熊本県市町村平均いずれに比較しても低い水準となっている。今後は、IT化による事務の合理化、各種事務事業の民間委託化等により、更に平成21年度までに5%以上の削減を図る。

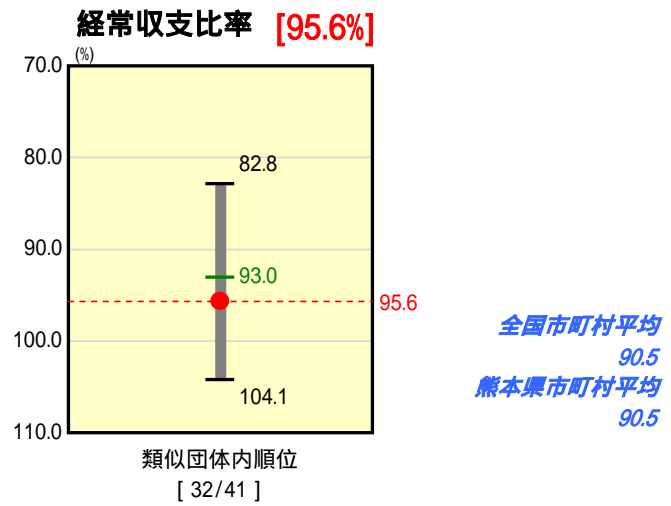
### 財政力



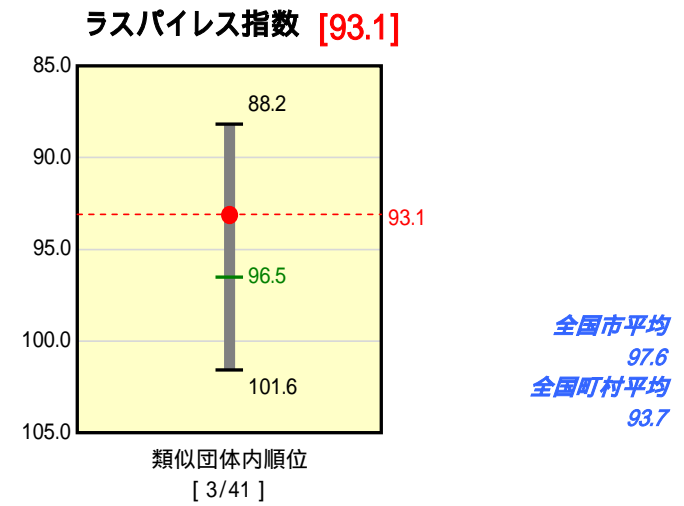
### 将来負担の健全度



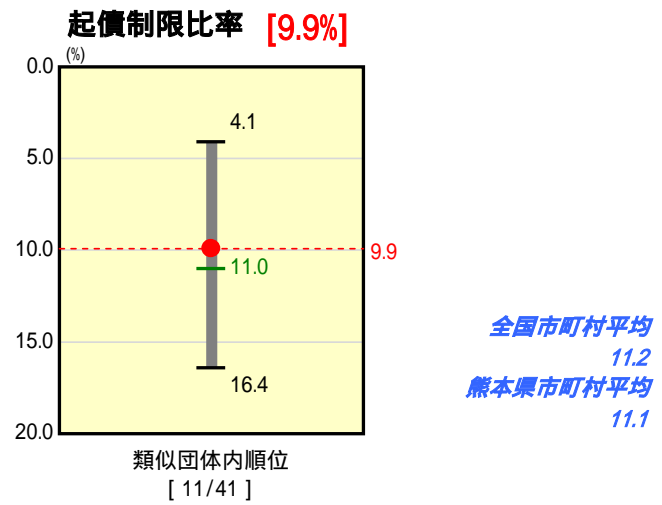
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度

